

2020年5月15日

鹿児島大学病院（脳神経外科、脳神経内科、整形外科など）で
治療中に麻痺に対してリハビリを受けた患者さん及びご家族へ
（ 医学系研究に関する情報 ）

鹿児島大学病院リハビリテーション部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

中枢神経疾患に対する促通反復療法の効果 -観察研究-

【研究機関】

鹿児島大学病院 リハビリテーション部

【研究責任者】

鹿児島大学病院 リハビリテーション科
准教授 衛藤 誠二

【研究の目的】

鹿児島大学病院では多く患者さんが治療を受けています。中枢神経系（大脳、小脳、脳幹、脊髄）の疾患では、麻痺などの後遺症が生じることがあります。当院リハビリテーション部では、麻痺の改善や身の回りのことができるように積極的なリハビリテーションを実施しております。麻痺が生じる疾患として、脳卒中や脳腫瘍、中枢神経の変性疾患、脳血管の異常、脳炎、小児発達障害による麻痺、脊髄損傷などが挙げられ、これらの疾患に対しては早期からのリハ

ビリテーションや麻痺した手足の積極的な運動が麻痺の改善に有効であると報告されております。当院リハビリテーション部では、脳卒中によって麻痺が生じた患者さんに対して促通反復療法（川平法）による麻痺の改善を目指してきました。一方で、促通反復療法について、脳卒中以外の麻痺を生じる疾患に対しての効果について検討されておられません。

本研究の目的はこれまで実施されてきた中枢神経疾患の患者さんのリハビリテーションの経過記録から、促通反復療法の実施状況や有害事象の有無、効果などを検討することです。また、本研究により促通反復療法の適応の拡大と中枢神経疾患におけるリハビリテーション方法の一つとして確立することを目的としています。

【研究の方法】

中枢神経疾患の治療後にリハビリテを受けた患者さんのカルテから必要な情報（リハビリ開始時及びリハビリ終了時の身体機能や日常生活動作能力、リハビリ実施期間中における実施状況、促通反復療法の有無、有害事象など）を収集、調査します。この方法は、過去のデータを調べる際によく使用される方法で、患者さんに直接ご協力いただく特別なことはございません。

【対象となる患者さん】

平成29年4月1日から令和4年3月31日までに、鹿児島大学病院の脳神経外科、脳神経内科、整形外科などで中枢神経への治療とともにリハビリテーションを受けられた18歳以上の患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

リハビリテーション評価（運動麻痺、高次脳機能障害、基本動作能力、歩行能力など）、日常生活活動の評価（BI）、リハビリプログラム（促通反復療法など）と実施状況、開始時期、意識レベル、治療内容（放射線や化学療法など）、

看護記録、有害事象の有無、医師記録、手術記録の中から必要な情報を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

データを解析するために必要な資金は、鹿児島大学病院リハビリテーション科の使途特定寄付金で賄います。この研究に対する企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 リハビリテーション科

准教授 衛藤 誠二

電話 099-275-5704 FAX 099-275-5704